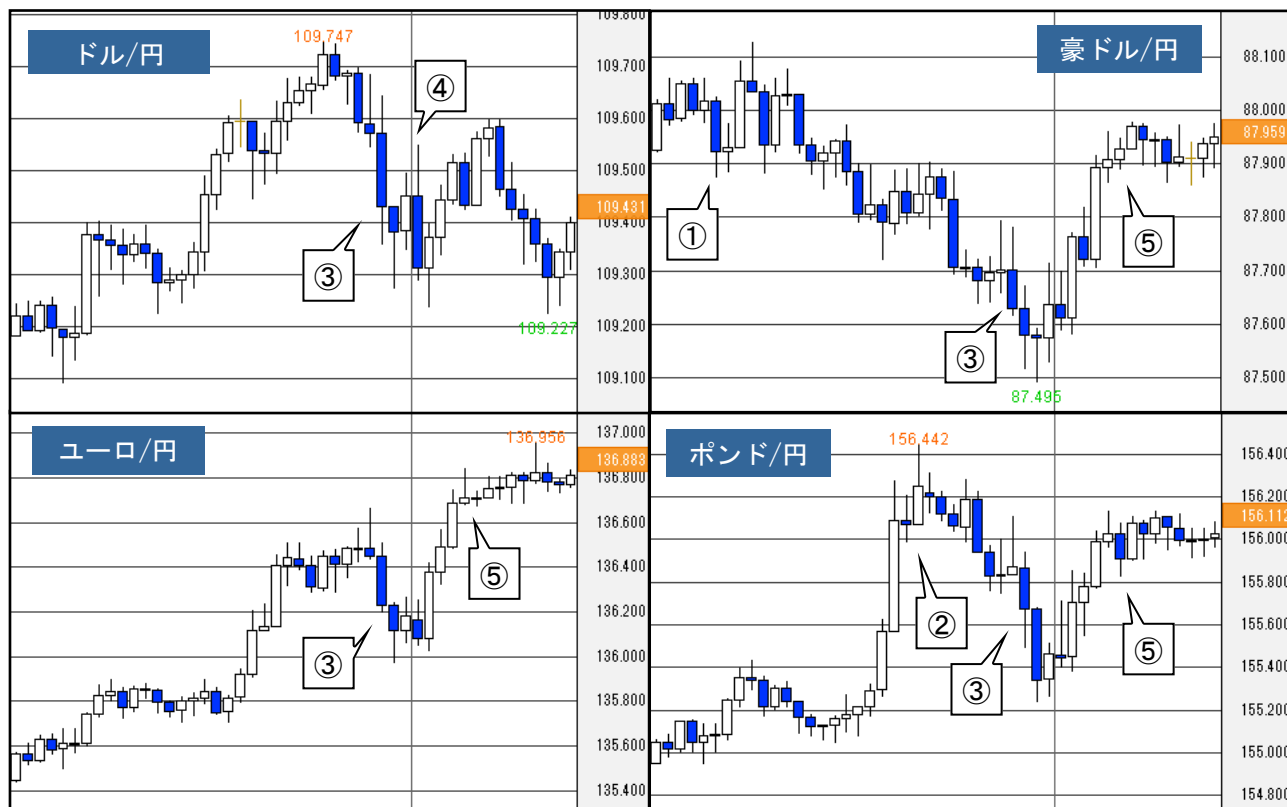


2月2日(金曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

米雇用統計のほか日銀オペにも注目

1日(木)の為替相場

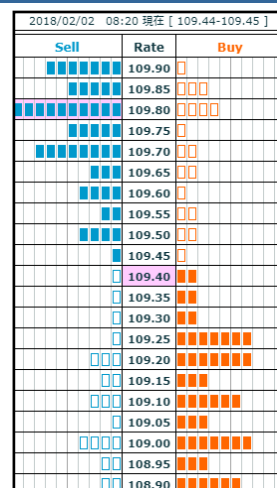


期間：1日(木)午前7時10分～2日(金)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 豪12月住宅建設許可件数が前月比-20.0%の大幅な落ち込みとなった事を受けて一時豪ドル売りが強まった。
- ② 英1月製造業PMIは55.3と市場予想(56.5)を下回ったが、対ドルを中心に欧州通貨買いが優勢となる中、ポンド売りの反応は一時的だった。
- ③ 米新規失業保険申請件数は23.0万件と予想(23.5万件)に反して前回(23.1万件)から改善。雇用情勢をより正確に反映するとされる4週平均は23.45万件と前週(23.95万件)から減少した。ただ、独DAX指数を筆頭に欧州株が下落する中、ドル/円は弱含む展開となり、クロス円にも一時下落圧力がかった。
- ④ 米1月ISM製造業景況指数は59.1と市場予想(58.6)を上回り前回(59.3)からほぼ横ばいとなった。ただ、内訳の雇用指数が54.2と前回(58.1)から低下していた事もあってドル買いの反応は限定的だった。
- ⑤ 米国株の持ち直しを受けてクロス円が反発。その後、オーストリア中銀のノボトニー総裁が「欧州中銀(ECB)は今、資産買い入れを終える時期にきている」などと述べた事や、ドル売り・欧州通貨買いの動きが再開した事からユーロ/円は約2年4カ月ぶりに136.90円台まで上昇した。

1日(木)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
23486.11	6090.067	3446.980	7490.39	13003.90
△387.82	△52.384	▼33.853	▼43.16	▼185.58
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
26186.71	0.1000%	2.803%	1.531%	0.721%
△37.32	△0.0150	▼0.010	△0.020	△0.024
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.1609%	2.7896%	65.80	1347.90	
△0.0203	△0.0846	△1.07	△4.80	

外為注文情報(ドル/円)



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	108.500-110.300	136.000-137.500	87.400-88.600	155.000-156.800

【ドル/円】

本日は米1月雇用統計が発表される。市場予想は非農業部門雇用者数が18.0万人増、失業率が4.1%となっている(前回:14.8万人増、4.1%)。また、注目の平均時給は前月比+0.2%、前年比では+2.6%が見込まれている(前回:+0.3%、+2.5%)。ドル/円は年始からの下落が一服しており、底入れの兆しも出ているだけに、今回の雇用統計の結果が目先の方向性のカギを握る事になるかもしれない。

また、本日は日銀の金融調節(オペレーション)にも注目したい。日銀が0%前後に誘導するとしている10年債利回りは、世界的な長期金利上昇の流れに沿って0.1%目前に上昇している。物価目標の達成まで大規模緩和を粘り強く続ける方針を示している日銀のスタンスが問われる局面だろう。買入れオペの増額や「指値オペ」で利回り上昇を抑えに動くか注目される。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
2/2(金)	09:30		(豪) 10-12月期生産者物価指数(前年比)	+1.6%	—
	10:10	◎	(日) 日銀国債買入れオペ(5-10年、10-25年、25年超)	—	—
	18:30	○	(英) 1月建設業PMI	52.2	52.0
	19:00		(ユーロ圏) 12月生産者物価指数(前年比)	+2.8%	+2.3%
	19:00		(ユーロ圏) クーレECB理事、講演	—	—
	22:30	◎	(米) 1月非農業部門雇用者数	+14.8万人	+18.0万人
	22:30	◎	(米) 1月失業率	4.1%	4.1%
	22:30	◎	(米) 1月平均時給(前月比)	+0.3%	+0.2%
	22:30	◎	(米) 1月平均時給(前年比)	+2.5%	+2.6%
	24:00		(米) 12月製造業受注指数(前月比)	+1.3%	+1.5%
	24:00		(米) 1月ミシガン大消費者信頼感指数・確報	94.4	95.0
	27:30		(米) カプラン・ダラス連銀総裁、講演	—	—
	29:30		(米) ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁、講演	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。